

地域経済の現状について

平成26年9月8日現在

- 経済指標からは、持ち直しの傾向が続いているが、消費税率引上げの影響等により一部に弱い動きがみられ、景気判断は、22か月ぶりに下方修正。
- 地域からは、
 - ・ 景気回復を実感できないという声と実感できるという声があり、未だ地域すみずみまで景気の回復が進んでいない。建設業は好調との声が多いが資材高騰の経営への影響も出始めている。
 - ・ 雇用は求人が多いが求職者が少なく、建設業をはじめ、小売業や水産加工業、介護など幅広い業種で人手不足の影響が出ている。
 - ・ 消費税の影響については、影響が見られない、転嫁が進んでいるという声が多いが、影響があるという声も多く、反動減の影響が大きい、転嫁できない事業者もいるといった声もある。
 - ・ 石油製品や原材料の高騰が企業経営に影響を与えているという意見や電気料金の値上げの影響などコストアップへの懸念の声も多い。
- 建設業をはじめとした人手不足や原材料・燃料費などの価格上昇に加え、7月末には電気料金再値上げ申請が行われるなど 先行きの不透明感が増加。こうしたことから、本年3月に策定した「地域経済の好循環につなげるための推進方針」の好循環の輪が途切れないよう、6月に実施した追加経済対策に加え、「更なる追加経済対策」を実施する。

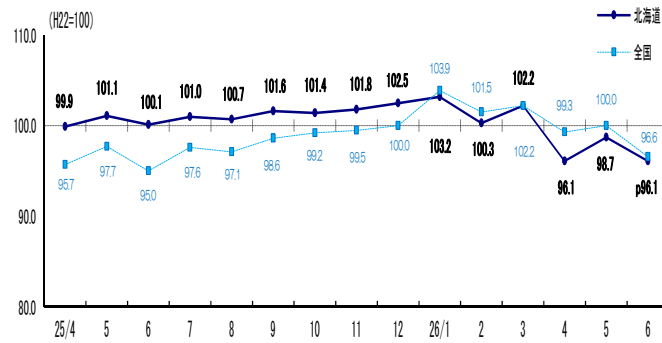
1 各機関による最近の北海道の景気判断（平成26年6月の経済指標を中心として）

北海道 「最近の経済動向」 (H26. 8. 27公表：毎月)	日本銀行札幌支店 「金融経済概況」 (H26. 7. 28公表：毎月)	北海道経済産業局 「最近の管内経済概況」 (H26. 8. 12公表：毎月)
<H26年8月> 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる (22か月ぶりに下方修正)	<H25年12月～H26年7月> 緩やかに回復している (8か月連続で同じ判断に据え置き) ※ 8月は公表なし	<H26年6月～H26年8月> 緩やかな持ち直し基調が続くなか、一部に弱い動きがみられる (3か月連続で同じ判断に据え置き)
<H25年10月～H26年7月> 緩やかに持ち直している	<H25年10月～11月> 緩やかに回復しつつある	<H25年10月～H26年5月> 緩やかに持ち直している

2 本道の主な経済指標

(1) 生産活動（企業活動）

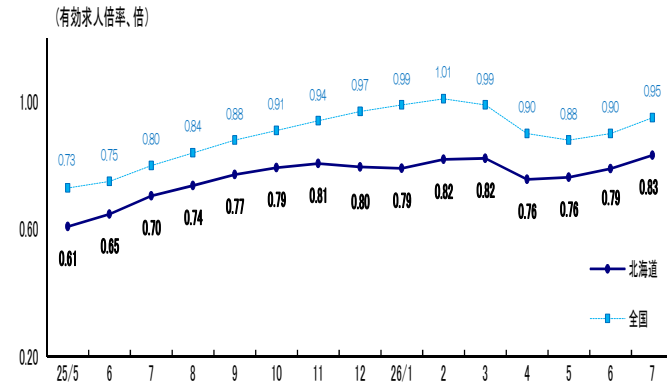
- 鉱工業生産指数 弱めの動きとなっている。



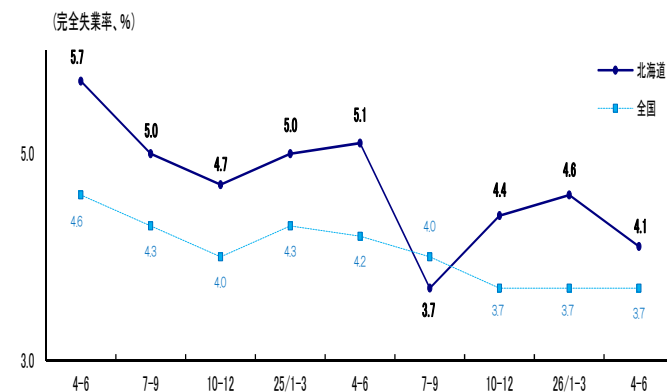
(2) 雇用

厳しさは残るものの、緩やかに改善している。

① 有効求人倍率

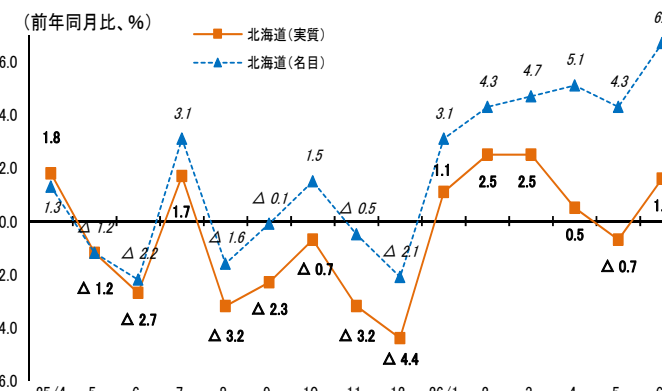


② 完全失業率



【参考】賃金指数（現金給与総額）

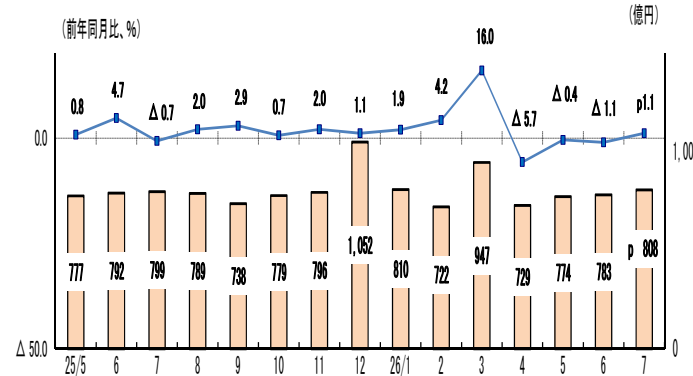
賃金は上昇傾向。



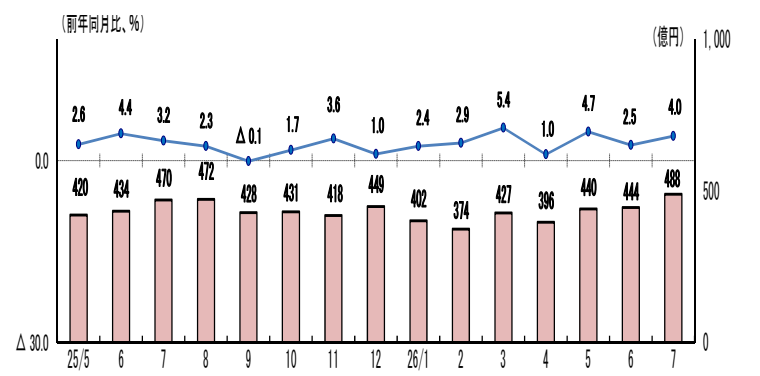
(3) 需要動向（消費・投資）

個人消費（①～③）消費税率引上げの影響等により一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの傾向が続いている。

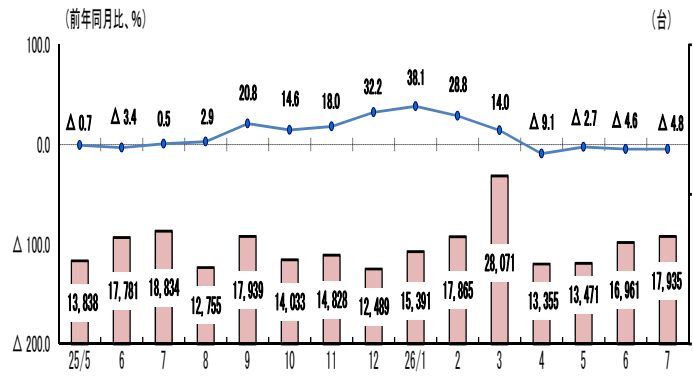
① 大型小売店販売額



② コンビニエンスストア販売額

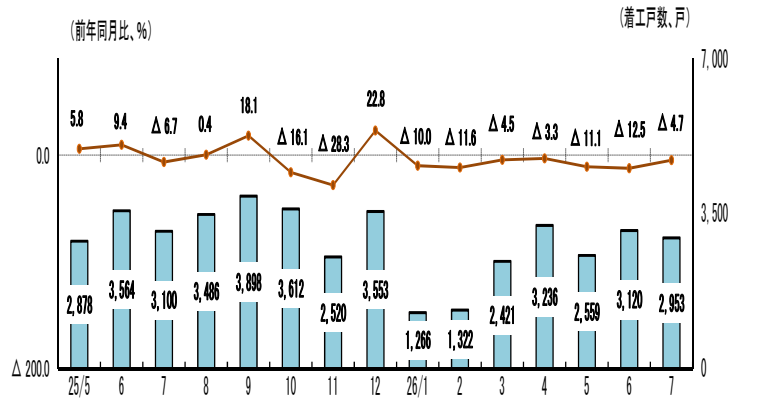


③ 新車登録台数



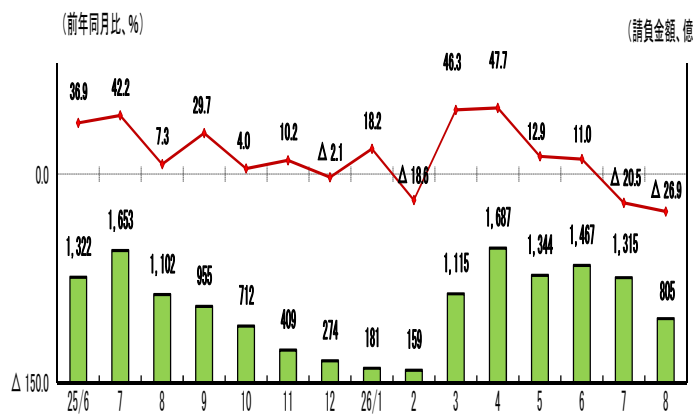
④ 新設住宅着工戸数

減少しつつある。



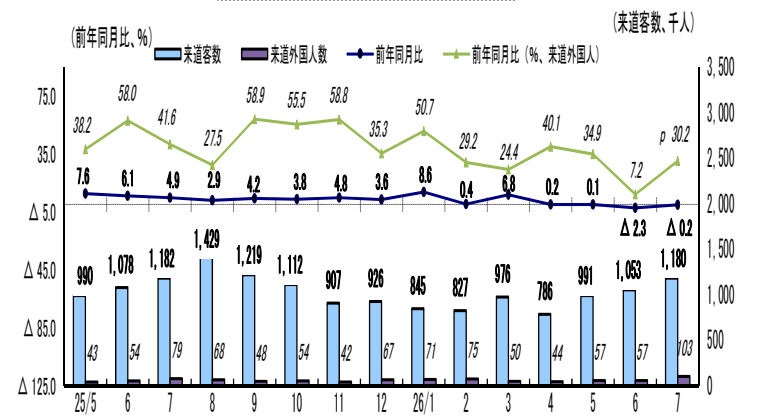
⑤ 公共工事請負金額

増加傾向にある。



⑥ 来道客数

緩やかに回復している。



※ p は速報値。